

令和5年度 総務建設常任委員会活動報告書

総務建設常任委員会では、任期年（令和4年度と令和5年度）の活動計画として「交通問題」と「地下水源」の2つのテーマを掲げました。コロナ禍で視察研修は大変厳しい状況でしたが活動計画に沿って実施しました。

活動内容は、下記のとおりです。進捗状況を評価点として「見える化」しました。

総務建設常任委員会活動方針「テーマ」

交通問題

- ・ 地域交通
- ・ 交通安全

地下水源

- ・ 町の地下水の現状
- ・ 地下水の利用

交通問題

地域交通	評価点	判定
	7.0	次年度に 申し送り
内 容		
玉城町へ視察研修（元気バスを核とした複合サービスについて）		
視察研修の取りまとめ（玉城町）		
視察研修先の決定（京都府舞鶴市、奈良県王寺町）		
京都府舞鶴市へ視察研修（meemo サービス）		
奈良県王寺町へ視察研修（グリーンスローモビリティ）		
視察研修の取りまとめ		

所感・批評

東員町は、オレンジバスによる外出支援を行っていますが、今後更に高齢化が進行するため、きめ細かい移動手段や外出支援が必要となってくると考えられます。

行政だけではなく、住民の協力や住民同士の支え合いがますます必要となってくると感じました。高齢者及び交通弱者が求める地域交通を研究し、試行錯誤しながらいろいろな形の移動手段を検討すべきだと思います。

交通安全	評価点	判定
	6.0	次年度に 申し送り
内 容		
京都産業大学へ視察研修 (学生提案のトリックアートを用いた横断歩道)		
視察研修の取りまとめ(近江八幡市・京都産業大学)		
交通安全対策について協議		
交通安全対策について危険箇所確認		
交通安全対策に関する要望書作成		

所感・批評

交通安全対策として、町内道路の危険箇所を確認しました。
協議した結果、トリックアートやグリーンベルトの路面標示や危険箇所の改善を提案し、
要望書を提出しました。

地下水源

町の地下水の現状	評価点	判定
	5.0	次年度に 申し送り
内 容		
町上水道の現状について(上下水道課)		

所感・批評

東員町の上水道は、他市町と比べ、沈殿池やろ過施設を持たないシンプルな施設のため給
水原価や供給単価が三重県で 1 番安価な町です。課題としては、40年以上経過してい
る導水管や配水管などの更新にかかる費用が増大することです。
今後、将来の人口減による給水人口の減少なども含め今後の検討課題として取り組んで
いくべきと考えます。

地下水の利用	評価点	判定
	5. 0	次年度に 申し送り
内 容		
町上水道の現状について（上下水道課）		
近江八幡市へ視察研修（地下水の活用について）		
視察研修の取りまとめ（近江八幡市・京産大）		
水源かん養地対策に関する提言書の回答について		

所感・批評

近江八幡市では、災害時に避難場所に水を確保できるよう、ろ過装置を設置しています。また、太陽光発電も設置されていました。

東員町は、水源が浅井戸の1系統なので、災害時などで使用できなくなる恐れがあります。避難場所の水の確保の必要性を強く感じました。

現在の水源を守りつつ、非常時に備える設備や深井戸などの水源の確保を、今後の検討課題として取り組んでいくべきと考えます。

総務建設常任委員会評価基準

委員会活動内容の進捗状況を「見える化」にするため、年度末に各委員がテーマ項目ごとに評価し、判定します。また、その平均値をもって今後の活動の方向性を示します。

評価にあたっての点数等は「1. 評価基準」のとおりです。

1. 評価基準

評価基準	評価 点数	委員（6人）の 評価平均点数	判定	方向性
目的を十分または概ね達成した。	10	9.1 点以上	A	完結
進展したが、継続する必要あり。	8	5.1 点以上 9.0 点	B	次年度に申し送り
不十分。今後努力を要する。	5	3.1 点以上 5.0 点	C	原因を究明し、次年度に申し送り
評価の該当なし。	0	3.0 点以下	D	要再検討若しくは活動項目から除外

※評価等の決定について、委員の2分の1から異議の申し出がある場合は再考すること。ただし、これらの申し出は、その委員会が終了するまでに行うこと。